

TRAb

甲状腺刺激ホルモンレセプター抗体キット

甲状腺濾胞上皮細胞膜にある甲状腺刺激ホルモン（TSH）レセプターに対する抗体です。

TRAbのうち、刺激型の抗体は、甲状腺を刺激して甲状腺ホルモン産生を増大させ、結果としてバセドウ病の甲状腺機能亢進症を引き起こす原因となります。従って、TRAbの測定は、バセドウ病と他の甲状腺疾患、とりわけ無痛性甲状腺炎との鑑別診断に有用です。また、抗甲状腺薬の量の調節や中止の判断を行うことができます。

従来は、標識 TSH と TSH レセプターの結合に対する阻害率を求めることにより TRAb 活性を測定していましたが、近年 Dr. Smith がヒトモノクローナル甲状腺刺激抗体 M22 を樹立したことから、標識 TSH のかわりに標識 M22 を用いた第三世代の測定系が構築され、自動化測定にも適用されています。

仕様

試薬構成

免疫反応試薬 Eテスト「TOSOH」II（TRAb）（100テスト／箱）
（酵素標識試薬 4mL x 5本を含む）

標準品 Eテスト「TOSOH」II（TRAb）標準品セット（6濃度、各2本／箱）

検体希釈液 Eテスト「TOSOH」II（TRAb）検体希釈液（4mL x 4本／箱）

対象検体種 血清

測定時間 免疫反応時間 10分+10分（2ステップEIA法） 結果報告 約35分

測定範囲 1. 0～40 IU/L

健常人参考値 <1. 0 IU/L（社内データ）